高石杯

中学生の部

目標:優勝

結果:完走者最下位(7位)

自分は3年で受験があるので今年最後の中学生のレースになるであろう高石杯。2年前に初めて中学生と走った思い入れのあるレース。今年は群馬 CSC ではなく修善寺でのレースに変わった。

朝は5時に出発。同じチームの川田さんたち(以下翔太)と葛西工業高校の佐藤君を川田邸で拾って会場へ。2日前ほどに風邪をもらったのか鼻水がひどくそれと連動して喉や耳までやられてしまった…また胃の調子も悪く、そのせいか口内炎もできる。行きの車では咳をするたびに吐きそうになり寝てなんとかこらえる。牛丼を買って会場入り。知り合いはみんな既に到着していた。会場内で受付を済ませて一旦車へ戻って荷物を取ってから準備。試走へは行かずに牛丼を食べる。風邪で食欲がなかったが水を飲んで無理やり流し込む。検車開始からスタートまでは時間があるので検車を済ませてからアップをする。アップを始めるが蒸し暑さからか風邪からか脚が思ったように動かない。悪いイメージを作らないようにそこまで気にしないことにする。30分ほど回したら招集場所へ。今回中学生は9人(同チーム3名)しかいないため陣取る必要がなくその辺をウロウロして体を温める。そしてスタートラインへ。暑い上にドリンクの味がグレープフルーツ系だったので気持ち悪くなる。そして昨年度優勝のラバネロの茂呂君の掛け声のもと12時31分にレーススタート。

スタート直後はみんなペースを上げないのでローリングかと思ったらリアルスタートしていたので下りで助走をつけて坂をダンシングで駆け上がるが当然のことながらみんな付いて来る。先頭交代をしてレースが進んでいくが決定的なアタックはなく集団のまま下りへ。自分は体に違和感を覚えながら下りへ。エアロフォームでガンガン飛ばす。そして登りへ入る。いつもなら余裕のあるペースだが今日はきつい。脚が重いのもそうだけど肺がキツイ。なんとか集団にしがみついて2周目へ。ここまでで集団は7人になりペースが変わらないいままレース進んでいき同じチームの翔太がアタック。みんなすぐにチェックに入るが自分はみんなの後ろにぶら下がるので精一杯。その次の坂で2人がアタック!後ろの集団には自分を含む5人が残り、「泳がそうぜー」と意見が一致する。肺が付いて来ず辛かった自分としては「助かったー」という感じだった3周目のホームストレート先の坂で逃げを吸収するアタックがかかりあっさりと千切れる。1分前にスタートした高校生たちを抜いて行き残り2周。ハンドルを握るのも辛くなってきて棄権しようかとも考えたが全日本の出場権もかかっているのでフラフラになりながら走り続ける。抜かしてきた高校生たちにも抜きまくられなんとかゴール。トップから6分遅れの7位だった。

良かった点:下りで攻められた

反省点:体調管理ができていなかった

全日本で落車以来調子が戻っているか心配でしたがそれ以前に気を配らなければいけない

ことがあったようです。受験までもう時間がないので風邪を治して早く調子を戻したいです。応援してくださった皆様ありがとうございました。